

# ご当地 自慢

アライダシ  
自然観察教育林

59

東濃署

岐阜県恵那市上矢作町には、恵那山に位置するアライダシ自然観察教育林（上村恵那国有林一〇八六林班）があります。

ここは、東濃森林管理署上矢作森林事務所管内で、かつての恵那山周辺は、ブ

ナ、モミ、ヒノキなどの原生林に覆われていたものでしたが、戦後の復旧用資材として伐採されたことにより林相は変化し、次第に消えゆく恐れがありました。温暖化や自然環境問題が問われる中で、希少で貴重な原生林のもつ今日的な価値に目を向け、平成六年、町の関係者と東濃森林管理署（旧中津川営林署）が次代に残すべく、共通の認識と協力により約一〇分の区域を自然観察教育林として残すこととなりました。以降、地元有志で作る国有林「アライダシ自然観察教育林」を守る会のメンバーが林内の歩道の整備・修繕など基盤整備を進めており、親子行事、教員の研修、団体の視察など



共生木（サクラとミズナラ）

の見学場所として活用されているので紹介します。自然観察教育林は、恵那山地の北東端、恵那山の南に続く山頂緩斜面付近、約一、一〇〇坪の山地に位置しています。地質は伊奈川花崗岩という風化したマサ土に覆われ酸性の土壌形成の基となっています。年間降水量は二、〇〇〇ミリを超え、ここから流れ出す水は上矢作町を経て愛知県に入り三河湾まで流れ込んでいます。この森でひとときを目立つのは端正な形をしたモミです。季節風や降雪の影響から先端が曲がったものが見られ、サワラ、ヒノキ、コメツガと共に点在しています。広葉樹では、山地帯の代表的なブナが北側にまとまって生育しており、ミズナラ、ミズメ、ミズキ、イヌシデ、ダケカンバなどの落葉広葉樹が広く見られます。林内の見どころとして、異なる樹木が根元などで一体になった共生木や、倒木の幹やその株の上に実生しそのまま根を張り成長した木などが見られ、隣接した池には、モリアオガエルなどが生息しています。

五感を生かし目で見る、触れてみる、においを嗅ぐ、音を聞くなど、落ち葉を踏みしめながらゆっくり観察すると今までの見えなかつた何かが発見できるでしょう。この自然観察教育林が生きた自然科の学習の場として、また、より多くの人が森や自然環境などについて考える場として、更に、訪れた人たちの活力や健康増進に繋がる場となっていますので、足を運ばれてみてはいかがでしょうか。

【アクセス】  
車 中央自動車道「恵那IC」より約四〇分  
鉄道 明知鉄道岩村駅下車 車で約二〇分



林内の歩道を散策する方々